

国際ゴム研究会分担金

平成31年度予算額 0.1億円 (0.1億円)

事業の内容

事業目的・概要

- 国際ゴム研究会 (International Rubber Study Group: IRSG)は、各国政府が加盟するゴム (天然ゴム、合成ゴム) に関する国際機関であり、加盟国の官民 (消費国・生産国) が参加し、主に以下の活動を実施しています。

(1)国際需給に影響する事項の検討

(2)国際統計 (生産、消費、輸出入等) の情報収集・提供

加盟国 : 8カ国 + EU (2018年8月現在)

事務局 : シンガポール

(2008年6月に英国からシンガポールへ移転。)

[欧州] (1カ国) EU、ロシア

[アジア] (4カ国) 日本、シンガポール、インド、スリランカ

[アフリカ] (3カ国) コートジボワール、カメルーン、ナイジェリア

- 加盟国は、分担金総額の6割を均等割、4割をゴムの生産量又は消費量のうちいずれが多い方のシェアに応じて分割し、これらの合算額を分担金として負担しています。

成果目標

- 適切な資金拠出により、統計の利用やゴム経済の持続的発展のための国際基準・認証制度づくりの参画において便益を享受することを目指します。

条件 (対象者、対象行為、補助率等)



事業イメージ

1.活動① : 国際需給に影響する事項の検討

Sustainable Natural Rubber Initiative (SNRi)



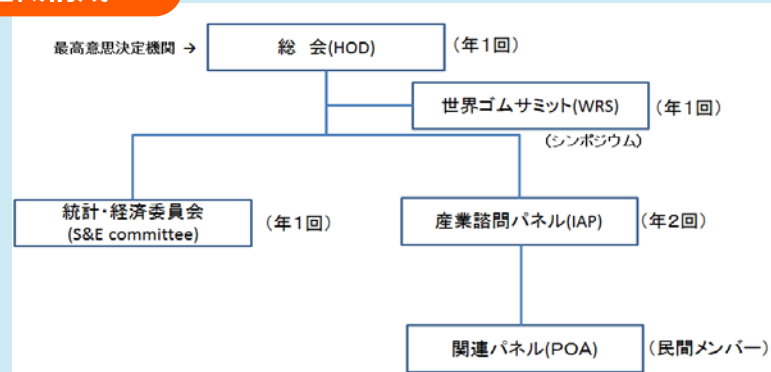
- ・天然ゴムのサプライチェーンにおけるサステナビリティ・スタンダード (持続可能性基準) の普及を目的とした活動です。

2.活動② : 国際統計の情報収集・提供

Rubber Statistical Bulletin

- ・事務局はゴム統計に関する報告書を季刊で発行しています。

3.組織構成



世界ゴムサミットの様子